

平成27年度 事業報告書

一般財団法人
児童健全育成推進財団

東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会ビル 7F
TEL 03-3486-5141 FAX 03-3486-5142

平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業報告書に記載する各種事業の会計区分は以下のとおりです。

実施事業等会計	行政庁が公益に関する事業と認め、公益目的支出計画の対象事業として、公益目的支出計画に記載した事業の会計
その他会計	上記に属さない事業の会計
法人会計	法人の管理業務に係る会計

1 児童健全育成組織の強化

(1) 児童健全育成推進財団の周知（法人会計）

パンフレット、ホームページ等により広報活動の強化をはかった。

(2) 「児童館連絡協議会」の連携（法人会計）

各自治体において児童館の発展につながる児童館連絡協議会（以下、「県児連」）の活動を支援し、その全国的な連携を促進した。また、輪番制などによりその事務局が移行する際には引き継ぎの補完的情報提供などを起こない、運営面で相談があった県児連に対しては適宜必要な助言をおこない円滑な運営がはかられるよう支援した。

(3) 理事会（法人会計）

第3回	平成27年5月14日 東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」
第4回	平成28年3月18日 東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」

(4) 評議員会（法人会計）

第3回	平成27年5月29日 東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」
第4回	平成28年3月18日 東京都渋谷区「日本薬学会 長井記念館」

(5) 会員総会（法人会計）

平成27年5月22日 東京都千代田区「都市センターホテル」	〔出席者：127名〕
----------------------------------	------------

(6) 児童館連絡協議会 全国会議（法人会計）

各児童館連絡協議会の会長および事務担当者を招集し、相互の機能強化と連携の促進をはかった。

平成27年5月21日
東京都千代田区「都市センターホテル」 [参加県児連数：40 人数：71名]

(7) 会員制度（法人会計）

児童館・放課後児童クラブ活動の推進・活性化のための会員制度を運営し、会員に対して関係情報の提供等のサービスをおこなった。

	平成28年3月末日 現在
組織会員	106
施設会員	2,931
個人会員	734
	3,771

2 研修事業

児童館・放課後児童クラブが各地域で健全育成・子育て支援を十分に担うためには、児童厚生員・放課後児童指導員の職員の資質向上が必須条件となる。

豊かな人間性を基盤とした専門的知識と技術を習得する研修を実施し、関係職員の資質とその専門性を高めるため、以下の各種研修事業をおこなった。

(1) 児童厚生員等基礎研修会（実施事業等会計）

児童厚生員等関係職員を対象として、健全育成活動と児童館・放課後児童クラブの役割、子どもの発達理論や遊びの有用性、またはその援助方法などの理論と実技の基礎研修を実施した。

①	東京会場1	平成27年6月9日～12日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」[参加：98名]
②	神戸会場	平成27年6月30日～7月3日 兵庫県神戸市「ニチイ学館神戸アートアイランドセンター」[参加：97名]
③	東京会場2	平成27年9月10日～13日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」[参加：121名]

【後援】 厚生労働省

(2) 中堅児童厚生員等研修会（実施事業等会計）

中堅的立場にある児童厚生員に求められる専門的な知識と指導技術の修得に重点をおきながら、地域や職場での調整者としての資質向上を目指した研修を実施した。

東京会場1	平成27年9月29日～10月2日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」[参加：41名]
-------	---

東京会場2	平成27年11月17日～20日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」[参加：32名]
-------	--

【後援】 厚生労働省

(3) 全国児童厚生員等指導者養成研修会（実施事業等会計）

地域において児童健全育成活動を総合的に発展させる役割を担うスーパーバイザーの養成を目的とした研修を実施した。

平成27年12月8日～10日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」	[参加：21名]
---	----------

【後援】 厚生労働省

(4) 全国児童館長研修会（実施事業等会計）

児童館長が初任者・経験者に応じた内容により、健全育成事業の動向や児童福祉向上のための見識を深め、その機能が十分に発揮されるよう研修を実施した。

平成27年10月26日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」	[参加：200名]
--	-----------

【後援】 厚生労働省

(5) 健全育成専門研修会（実施事業等会計）

健全育成活動上で課題となっている時宜に応じたテーマを選定し、各テーマを掘り下げて、その専門的深化を目指す研修会を実施した。

テーマ 「最新動向・事例・先進施策から 児童館のこれからを考える」	平成27年5月22日 東京都千代田区「都市センターホテル」 [参加：241名]
---	---

(6) 地方分散型児童厚生員等基礎研修事業（実施事業等会計）

各都道府県・指定都市において県児連等の関係団体とともに、育成財団が定める研修体系に準ずる児童厚生員等基礎研修を実施した。また、児童館連絡協議会が主催する研修会を後援し、児童厚生二級指導員資格取得のための単位を認定した。

実施都道府県 北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・新潟県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・大阪府・兵庫県・和歌山県・名古屋市・京都市・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・広島市・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・北九州市・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・沖縄県
[延べ回数：395回／延べ受講者数：27,131人]

(7) 児童厚生一級特別セミナー（事業実施等会計）

児童健全育成指導士の養成ステップとして、現場での実践力や時事課題への対応力を重視する内容のセミナーを実施した。

平成28年2月13日・14日
東京都千代田区「上智大学 10号館 講堂」 〔実践報告者：15名 聴講：13日 35名、14日 70名〕
【対象】 「児童厚生一級指導員」有資格者

(8) 健全育成指導者養成研修（都道府県認定資格研修講師養成研修）（その他会計）

「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」に基づき各都道府県でおこなわれる「放課後児童支援員資格認定研修」の講師となる方が、基本的な考え方や心得を共通の認識として持ち、講師としての一定の資質及び水準を確保することを目的として実施する研修会を受託した。

大阪会場	平成27年7月25日、26日 大阪府大阪市「新梅田研修センター」 〔参加：63名〕
名古屋会場	平成27年8月1日、2日 愛知県名古屋市「ダイテックサカエ貸会議室」 〔参加：39名〕
東京会場	平成27年8月22日、23日 東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」 〔参加：90名〕
愛媛会場	平成27年9月5日、6日 愛媛県松山市「ホテルサンルート松山」 〔参加：29名〕
仙台会場	平成27年10月17日、18日 宮城県仙台市「ホテルベルエア仙台」 〔参加：39名〕
福岡会場	平成27年10月31日、11月1日 福岡県福岡市「リファレンス駅東ビル会議室」 〔参加：50名〕
広島会場	平成27年11月7日、8日 広島県広島市「広島県社会福祉会館」 〔参加：26名〕

【主催】 厚生労働省

(9) 全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー（その他会計）

社会的問題である児童虐待やいじめの発生予防と早期発見、地域の子育て支援、子どもの主体性を尊重した活動の支援などの取り組みを進め、地域で子どもの健全な育成や成長・発達を支えていくことができる人材の育成と専門性の向上を図ることを目的として実施するセミナーを受託し、実施した。

開催期日	平成28年2月14日、15日
開催場所	東京都千代田区「上智大学」、江東区「東京ビッグサイト」 〔参加：14日 334名、15日 298名〕

【主催】 厚生労働省

【対象】 地域で児童健全育成に携わる実践者（及びその指導者）、行政担当者、他

3 認定児童厚生員資格制度

(1) 児童厚生員現任者の資格認定（法人会計）

研修体系に準拠した科目を修了した者に、児童厚生二級指導員、児童厚生一級指導員、児童厚生一級特別指導員、児童健全育成指導士の4種類の資格を認定した。

【現任者資格取得者】

	平成28年3月末現在	平成27年3月末	増数
児童健全育成指導士	24	21	3
児童厚生一級特別指導員	97	91	6
児童厚生一級指導員	2,314	2,235	79
児童厚生二級指導員	17,056	15,871	1,185
総 数	19,491	18,218	1,273

(2) 児童厚生員養成校での資格認定（実施事業等会計）

別紙(11ページ参照)のとおり、45校47学科を児童厚生員養成課程として認定し、児童厚生員資格の普及に努めた。

【資格取得卒業者数】

	平成28年3月末現在	平成27年3月末	増数
児童厚生一級指導員	718	631	87
児童厚生二級指導員	13,925	13,269	656
総 数	14,643	13,900	743

4 児童文化・児童健全育成プログラムの提案

(1) 児童福祉文化賞表彰式および発表会の開催（実施事業等会計）

厚生労働省社会保障審議会から推薦された「出版物」、「舞台芸術」、「映像・メディア等」の各部門の児童福祉文化財、ならびに広く児童健全育成推進に寄与した児童福祉文化財や児童福祉文化活動の中でも特に優れた作品等に対して厚生労働大臣賞を授与する表彰式を執りおこない、併せて受賞作品を披露する発表会をおこなった。

表彰式	平成27年5月11日 厚生労働省 会議室
発表会	平成27年4月29日 東京都新宿区「新宿明治安田生命ホール」 上演作品 オペラシアター「こんにゃく座」 『オペラ ピノッキオ』

【後援】 厚生労働省／社会福祉法人全国社会福祉協議会／
社会福祉法人日本保育協会／社会福祉法人東京都社会福祉協議会／
公益財団法人児童育成協会

(2) 「音楽を届けて子どもたちを育む」 Dream Passportプロジェクト（法人会計）
アサヒ飲料株式会社設置自動販売機の売り上げを基にした楽器寄贈プロジェクトへ参画
した。

(3) 子どものための児童館とNPOの協働事業（法人会計）
一般財団法人住友生命福祉文化財団が協賛し、児童館と地域のNPOが協働して、子どもたちが地域課題に触れる機会を提供する同事業に協力した。
(主催：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター、助成16団体)

5 地域活動の支援

(実施事業等会計)

地域児童の健全育成を目的として、児童館等と連携しながら児童の健全育成活動を中心に活動するボランティア組織「母親クラブ（親子クラブ）」の都道府県組織を対象に支援をおこなった。

全国の母親クラブに呼びかけ、連携・協力しておこなう「遊び場の遊具点検」「公園の防犯点検」の実施、全国大会の開催・運営支援、職員派遣などの支援をおこない、「全国大会」を共催した。

地域組織活動指導者全国大会	平成28年2月18日～19日 愛知県名古屋市「メルパルク名古屋」 〔参加：18日200名・19日130名〕
---------------	---

【共催】 全国地域活動連絡協議会／愛知県地域活動連絡協議会

【後援】 厚生労働省

6 広報・出版・情報発信

(1) ホームページ・SNS（法人会計）

財団ホームページ <http://www.jidoukan.or.jp/> ならびに情報提供サイト「コドモネクスト」(<http://www.kodomo-next.jp/>) の内容を充実し、児童健全育成関連情報を広く発信した。又、公式 Facebook ページ (<http://www.facebook.com/fpsgc>)、公式 twitter (<http://twitter.com/fpsgc>) を活用し、情報提供をおこなった。

(2) 情報誌の発行（法人会計）

情報誌『じどうかん』(A4判・16頁)を年4回編集・発行し、会員児童館および関係機関へ配布した。

7 児童館・放課後児童クラブの施設と職員の支援

(1) 共済制度（その他会計）

児童館・放課後児童クラブが安心して健全育成活動を展開するために、利用者や登録児童の活動中の事故等に対応した共済制度と、職員に対する共済制度を推進した。

①児童館用共済

	平成28年3月末現在			平成27年3月末		
	契約者数	施設数	被保険者数	契約者数	施設数	被保険者数
児童安全共済	1,028	3,113	34,782,870	1,022	3,118	33,467,755
児童厚生員共済	123	223	842	126	218	781

②児童クラブ用共済

	平成28年3月末現在			平成27年3月末		
	契約者数	施設数	被保険者数	契約者数	施設数	被保険者数
児童クラブ共済	1,118	1,898	77,672	1,096	1,867	71,920
児童クラブ指導員共済	760	962	4,124	744	960	3,939

(2) 児童健全育成活動の功労者顕彰事業（法人会計）

児童健全育成活動の推進や児童館の発展に関して、各地域において尽力された健全育成関係者を表彰し、その功績を讃えた。表彰式は会員総会の席上にておこなった。

団体の部	該当無
個人の部	45名

【対象】 本財団加盟団体（県児連）および会員施設関係職員

(3) 児童健全育成賞（數納賞）（実施事業等会計）

児童健全育成活動に関する実践報告を募集し、応募されたものの中から審査委員会での審査の結果、優れた報告を選出し褒賞した。

【児童健全育成賞（數納賞）】

中学生への学習支援事業がつなげる人材育成	北海道札幌市 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 こども事業部こども育成課 運営係長 古野 由美子 氏
----------------------	--

【児童健全育成賞（數納賞）佳作4編】

児童館が中高生の生きる力でありたい ～たかつかさ児童館における 思春期児童の実践より～	京都府京都市 社会福祉法人京都保育センター たかつかさ児童館 児童厚生員 溝口 晋太郎 氏
---	--

児童館における防災プログラムの実践	兵庫県西宮市 神戸市東灘区社会福協議会 子育てコーディネーター 大角 玲子 氏
児童養護施設における被虐待児と親への 心理臨床的支援の実践 一母親から育児放棄され自分の居場所を探し続けた 女児が再び母のもとに帰るまでー	三重県四日市市 乳児院・児童養護施設エスペランス四日市 臨床心理士 中富 尚宏 氏
母親クラブと仕事を通しての 私と子どもたちとの関わり	広島県呉市 呉市阿賀地域活動連絡協議会 会長 高橋 はるひ 氏

【児童健全育成賞（數納賞）奨励賞1編】

社会的養護の子どもたちを育てて	広島県呉市 稲垣ファミリーホーム 代表者 稲垣 りつ子 氏
-----------------	----------------------------------

【後援】 厚生労働省

8 調査研究事業

(1) 健全育成研究助成（法人会計）

児童館のエビデンスの検証等、児童健全育成活動の意義・価値の論拠に資する研究に対し、助成をおこなった。

第1回 「地域における児童館の現状と可能性」 ～四国地方における児童館の利用実態調査に基づく次世代型児童館の事業モデルの開発	主任研究者 松山東雲短期大学 講師 友川 礼 氏
--	--------------------------------

(2) 児童館における子育て支援等の実践状況に関する研究（その他会計）

市区町村の児童館に関する施策と「児童館ガイドライン」の普及・活用の状況とその実際を把握することから、児童館の現状と課題について再整理し、今後求められる児童館の役割や児童館活性化の方向を探ることを目的とする研究をおこなった。(厚生労働省 平成27年度子ども・子育て支援推進調査研究事業)

主任研究者 野中 賢治（児童健全育成推進財団 企画調査室長）

9 関係団体の協力・連携

(1) 民間児童館ネットワーク（実施事業等会計）

全国の民間児童館（主に社会福祉法人立）の児童健全育成活動や、児童館活動に関する情報交換や連携を深めるためのネットワークを支援するとともに、民間児童館独自の課題に対する研修会を実施した。

総会、研修会、情報交換の場の開催・運営支援のほか、地方ブロックごとに開催される

研修会の運営支援、職員派遣をおこなう。

①役員会

平成27年6月23日

京都府京都市 「ホテル京阪京都」

②定期総会

平成27年6月23日

京都府京都市 「ホテル京阪京都」

[参加：37名]

③研修会

平成27年10月26日

東京都渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」 [参加：37名]

【後援】 ③厚生労働省

(2) 児童厚生員養成課程連絡協議会（実施事業会計）

児童厚生員養成課程の一層の充実を目指して、各学校（児童厚生員養成校）への情報提供など、連絡組織の活動を支援した。

平成27年度 第19回児童厚生員養成課程連絡協議会・教育研究会

平成27年6月26日

東京都千代田区 「アルカディア私学会館」

(3) 健やか親子21推進協議会（法人会計）

母子保健に関する主要課題についての取組の効果的な調整・推進を目的とした「健やか親子21（第2次）」に参加・協力した。

10 その他

(1) 東日本大震災復興支援プロジェクト（実施事業等会計）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、特に深刻な被害のあった地域の児童館等に対して、昨年度に引き続き、全国ネットワークを活用した独自の支援活動をおこなった。

① 東日本大震災「児童館活動支援募金」

全国児童厚生員研究協議会と共に現地児童館関係団体への活動支援金の提供や被災地での児童厚生員によるボランティア活動支援等を目的とした募金活動をおこなった。

② 関連情報の収集・発信

③復興支援活動

- ・「児童館活動支援募金」支援金配分事業

- 22団体総額597万円送金

- ・岩手県下有住児童館屋外固定遊具整備（セブン銀行寄付事業）

- ・福島県児童館交流事業「じどうかんジャンボリーふくしま」の共催
- ・遊びイベント「第2回あそびにコンビニinそうま」の共催
- ・招待事業「東北・児童館アンバサダープログラムの実施」
- ・児童館連絡協議会・自治体への講師派遣
- ・物品寄贈、イベント支援コーディネート（随時）
- ・中央共同募金会「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」関係会議への職員派遣
- ・連絡調整、経過確認のため職員派遣

(2) 関東・東北豪雨災害 児童館支援の実施（法人会計）

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨により、特に深刻な被害のあった茨城県常総市の児童館に対して支援活動をおこなった。

① 関東・東北豪雨災害 児童館応援募金の実施

全国児童厚生員研究協議会と共に現地児童館への遊具・物品等の寄贈や被災地での児童厚生員によるボランティア活動支援等を目的とした募金活動をおこなった。

② 児童館再開に向けたイベントへの支援

児童館再開に向け、常総市児童館と児童厚生員ボランティア、他団体で実施したイベントを支援した。

(3) 講師派遣・コンサルテーション（法人会計）

地方自治体や各児童館連絡協議会等関係団体の要請により、健全育成関係の研修や講演、自治体の政策に関する助言・協力、児童館・放課後児童クラブの運営助言をおこなった。

【講師派遣の件数（延べ数）】

児童館連絡協議会	30件
地方公共団体	35件
関係団体他	18件

(4) 児童福祉施設 第三者評価事業（法人会計）

児童福祉施設の事業内容の質の向上と、利用者への情報提供を目的として、第三者評価事業を実施した。（東京都福祉サービス第三者評価機関／機構 12-215）

認証保育所	2件	（東京都）
児童館	8件	（京都市）

児童厚生員養成校一覧

(平成28年3月現在45校47学科)

	都道府県	学 校 名	学 科 名	取得資格
1	北海道	釧路専門学校	こども環境科	2級
2	青森県	青森明の星短期大学	子ども福祉未来学科	2級
3	岩手県	盛岡大学短期大学部	幼児教育科	2級
4	宮城県	仙台幼児保育専門学校	幼児保育科	2級
5	栃木県	宇都宮共和大学	子ども生活学部子ども生活学科	1級
6	群馬県	関東短期大学	こども学科	2級
7		大泉保育専門学校	保育科	2級
8	埼玉県	秋草学園短期大学	地域保育学科	2級
9	東京都	町田福祉保育専門学校	こども保育学科	2級
10		立教女子学院短期大学	専攻科幼児教育専攻	2級
11		昭和女子大学	人間社会学部初等教育学科	2級
12		上智社会福祉専門学校	保育専門課程保育士科	2級
13		東京 YMCA 社会体育・保育専門学校	保育専門課程保育科	2級
14		東京立正短期大学	現代コミュニケーション学科	2級
15	神奈川県	鎌倉女子大学	児童学部児童学科	1級
16		鎌倉女子大学短期大学部	初等教育科	2級
17		小田原短期大学	保育学科	2級
18	新潟県	国際こども・福祉カレッジ	こども福祉学科	2級
19	福井県	仁愛大学	こども教育学科	1級
20	山梨県	山梨学院短期大学	保育科	2級
21			専攻科 保育専攻	1級
22		帝京学園短期大学	保育科	2級
23	長野県	清泉女学院短期大学	幼児教育科	2級
24	岐阜県	中部学院大学短期大学部	幼児教育学科	2級
25	静岡県	常葉大学短期大学部	保育科	2級
26	三重県	高田短期大学	子ども学科	2級
27	滋賀県	滋賀短期大学	幼児教育保育学科	2級
28	京都府	京都聖母女学院短期大学	児童教育学科	2級
29		京都造形芸術大学	こども芸術学科	1級
30	大阪府	大阪青山大学短期大学部	幼児教育・保育科	2級
31		大阪健康福祉短期大学	子ども福祉学科	2級
32		大阪教育福祉専門学校	幼児教育科第一部	2級
33		大阪千代田短期大学	幼児教育科	2級
34	兵庫県	聖和短期大学	保育科	2級
35		神戸常盤大学	教育学部子ども教育学科	1級
36		兵庫大学	生涯福祉学部こども福祉学科	1級
37	奈良県	奈良佐保短期大学	地域こども学科	2級
38	島根県	島根県立大学短期大学部	保育学科	2級
39	岡山県	中国学園大学	子ども学部子ども学科	1級
40		くらしき作陽大学	子ども教育学部子ども教育学科	1級
41	山口県	宇部フロンティア大学短期大学部	保育学科	2級
42	香川県	香川短期大学	子ども学科第Ⅰ部・第Ⅲ部	2級
43	愛媛県	今治明徳短期大学	幼児教育学科	2級
44		松山東雲短期大学	保育科	2級
45	福岡県	西日本短期大学	保育学科	2級
46	沖縄県	沖縄女子短期大学	児童教育学科	2級
47			児童教育学科第二部	2級